



サイジナル

月刊
29-9・10
第435号

日本サイ科学会 平成 29 年 9 月 1 日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1 アサノビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎・FAX 052 (651) 3799	北 陸 〒920-0864 金沢市高岡町12-45-1F ホリスティック健康科学研究室内 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 6634	関 西 〒596-0807 大阪府岸和田市 東ヶ丘町808-153 河 野 明 夫 ☎ 072 (445) 7737・FAX 072 (445) 7796	九 州 〒851-2122 長崎県西彼杵郡 長与町本川内16-6 森 安 政 仁 ☎ 095 (883) 6048・FAX 095 (883) 6159
---	---	--	--	---

九月本部例会のお知らせ

健康で長生きすることを科学的と心霊的、そしてSWIIについての実演

講師 石川 允朗氏

最近健康寿命という言葉が広く唱えられているとおり、日本の高齢者の多くはいつまでも健康で長生きをしたいと願っています。

人生50年と言われた時代は、もう遙か彼方の話になってしまい、現在では平均寿命が90歳になるなんてことが、現実にならないことも夢ではなくなっています。

ですが、国民の全員が健康寿命でいられるかと言えば、そうではなく老若男女ともに、「腰が痛い、心臓が悪い、血圧が高い、糖尿病で病院に通院している」と苦しみ、またガン治療薬による副作用で苦しんでおられるのも現実です。

また、ある程度肉体は健康なのに、高齢者ばかりではなく若齢でも認知症が進み、家族の方の介護が大変だという話とか、霊に憑依され精神的に悩むとかの話も聞き

ます。食生活が豊かになり、昔と比較すると大きく改善され、さらに医療の進歩により寿命が延びるということですが、膝をさすりながら、欲しいものも喫食できずカロリー計算をしながらの生活では悲しくなっています。

では、ある程度健康で長生きをする方法はないのかということを探っていきますと、健康雑誌は書店で重要な位置を占め、「こうすれば痛みを改善する」とか「若々しくなれる」、また「霊的現象が原因の病気はこれだ」等々あふれんばかりの情報がありますが、その中でも幾つかの方法、改善策が見いだせます。

そこで、「どうすれば健康を保持できるのか」等についてのお話と、「心霊的に見た体調不良」、そしてロシアで開発されたヘッドホンからの一定の周波数により、脳から筋肉、骨、血管、血液、染色体、遺伝子レベルまでの全身約6000カ所のリサーチをおこない、利用者の不調の原因がどこからきているのか、また未病の段階で健康上の問題点を見つけられる機器である「SWII」の実演から、「健康」について考え、自己治療力を高め、

今月号の記事

- ◎ 九月本部例会のお知らせ
- ◎ 御寄付のお願い
- ◎ 関西サイ科学会九月、十月、十一月研究集会のお知らせ
- ◎ 中部サイ科学会九月例会予告
- ◎ 第26回全国大会プログラム
- ◎ 九州サイ科学会九月例会予告
- ◎ 第6回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎ 平成29年2月本部例会報告II
- ◎ 平成29年6月本部例会報告I
- ◎ 第四一八回関西サイ科学会報告
- ◎ サイ現象と脳波(3)
- ◎ スピリット・オーブ構成要素の検討(2)

本来の体調の維持管理が図れるようにしていただけだと思います。
※石川允朗氏は、ロシアのすごい健康関連機器である「SWII」の研究を続けて来られ、今回の講演で何人かの測定もしていただいています。会員の皆様はご友人・知人を誘って、是非ご参加願います。

◎ 石川允朗氏プロフィール
獣医師、日本獣医生命科学大学卒業。昭和22年香川県出身、千葉県

在任。川崎市で動物病院に勤務した後、宮城県で動物の診療を行った。その後公務員として勤める傍ら、心霊科学等の研究を始め、前公益財団法人日本心霊科学協会監事就任。公務員職退職後、動物病院での診療の後、現在財団法人I学園の講師と食品の衛生指導講師の職に就いている。

現在、サイ科学会幹事でもある。

日時 平成29年9月9日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第1研修室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 二〇〇〇円

一般 三〇〇〇円

学生 一〇〇〇円

御寄付のお願い

日本サイ科学会は主として会員の皆様からの会費で活動を続けておりますが、皆様からの御寄付に

も大変助けられております。

会員の皆様の会を支えるお気持ちとして、金額は任意で構いませんので、郵便局にある郵便振替用紙に、

番号001000・2・15344

加入者名 日本サイ科学会

通信欄に「一般の御寄付」として

お振り込み戴ければ幸いです。

関西日本サイ科学会

九月研究集会のお知らせ

放射能汚染から命を守る
最強の知恵
— 最新最強の健康情報 —

講師 阿部 一理氏

日時 平成29年9月16日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二千元(当日入会可)

一般 三千元 学生 一千元

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会

十月研究集会のお知らせ

マドモアゼル・愛が2017
年から2018年を占う

講師 伊藤 一夫氏

日時 平成29年10月21日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二千元(当日入会可)

一般 三千元 学生 一千元

問合せ072・445・7737

関西日本サイ科学会

十一月研究集会のお知らせ

タイトル..未定

講師 葛村 和弘氏
(武術気功家)

日時 平成29年11月18日(土)

午後1時30分～5時

会場 大阪科学技術センター

六〇五号室

交通 地下鉄四つ橋線本町駅下車

北へ徒歩5分 韮公園内

会費 会員 二千元(当日入会可)

一般 三千元 学生 一千元

問合せ072・445・7737

中部日本サイ科学会

九月研究集会のお知らせ

会員数名の研究・体験発表

日時 平成29年9月9日(土)

午後1時～5時

会場 博愛療院(ゆういん)

名古屋市港区名四町113

交通 地下鉄名港線港区役所駅下

車から徒歩15分

会費 一〇〇〇円(会員・一般)

※会員以外の方の参加も大歓迎

問合せ052・651・3799

★日本サイ科学会 第26回全国大会★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2017年10月15日(日) 10:00～16:40

(会場) 北とぴあ7階第1研修室

(交通) JR京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥2,000(含当日入会申込者) 一般 ¥3,000 学生 ¥1,000

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 浪平 博人 大会委員長

◎会員の研究発表(5名)(20分発表、5分質疑応答/1人)

10:10～10:35 小林 泰樹「空海の意志と思想と技法のサイ科学的考察」

10:35～11:00 橋谷 誠一「外気を感じる装置の開発」

11:00～11:25 小澤 佳彦「日本初!岡山の洞窟で実現した『天の扉開き』について」

11:25～11:50 橋本 和哉「AIは気の情報を取れるか?」

11:50～12:50 昼休み

12:50～13:15 山根 真「新宇宙論・量子論Ⅲ -統合科学を求めて-」

◎シンポジウム テーマ「AIを乗り越えるのは? AI[人工知能] vs PSI[サイ能力]」

13:20～13:30 大会委員長ご挨拶 浪平 博人「シンポジウム開催にあたって」

13:30～16:30 パネルディスカッション(氏名とタイトルは下記)⇒途中10分休憩有り

司会進行 阿久津 淳

パネリスト⇒前半は6名の発表(1人15分)

石川 允朗「AIは人間になれるか」

小澤 佳彦「AIと魂について」

小林 泰樹「AIとPK・ESPについて」

小林 信正「AIと心霊について」

迫村 申彦「AIとPSIの界面について」

浪平 博人「AIとひらめきについて」

16:30～16:35 優秀研究賞 表彰式 浪平 博人 会長

16:35～16:40 閉会のご挨拶 浪平 博人 大会委員長

17:30～19:30 懇親会(希望者:当日受け)

九州日本サイ科学会
九月研究集会のお知らせ

3分で治すトラウマ、蓄積
感情診療

講師 橋本 和哉氏

なぜ生きる！心霊現象から
学ぶ

講師 小林 信正氏

日時 平成29年9月17日(日)

午後1時30分～5時

会場 ホテルセントラーザ博多

4階「千鳥の間」

(福岡市博多区博多駅中央街

4・23)

交通 JR博多駅隣接&地下鉄直

結

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 二千元 学生 一千元

※お問合せ 090(37338)

7451(九州日本サイ科学会)

第6回スピリチュアル研究
分科会のお知らせ

意識の側面から見る、サイ
科学とは

講師 寺山 心一翁氏

「思考」がなせることは、生命全体では小さな領域です。からだの内外、生命全体で「感じる」と、物事をとらえる「意識」が変わります。それには、頭を空にしてみます。余計な知識をそぎ落とし、無邪気な状態になることです。私は33年前に腎臓がんにになりました。データがすべての典型的なエンジニアでしたので、病気になるなければ、意識のこととは無縁の世界にいたでしょう。

感謝の気持ちを感じる時、無条件の愛が感じられる時も、意識が変わる状態と言えます。無邪気になると、サイは科学を超えたところに存在することもよく感じられることでしょう。また、思考を超えるのと知識は私たちの中に生きる智慧となります。今回は、考える、から感じる、へ変わるこの大切

さを中心に、私なりのサイをお話
できればと思います。

※寺山心一翁先生はご自身でがんを克服され、病を癒す過程で気づいた多くの智慧は、人生に起きるさまざまな困難を解決する鍵となりました。

ワークショップを通して自分への気づきを深め、心の扉を開いていくと、ハツとする瞬間が訪れて、あなたの人生が光り輝くように変わっていきます。寺山先生のチェロの奏でる音色に癒される必見のご講演でもあります。お友達を誘われ是非お越しください。

◎寺山心一翁氏のプロフィール

(有)寺山心一翁オフィス代表、
「意識の超越理論」創案者。

1936年東京生まれ。早稲田大
学理工学部卒。東芝で半導体素子
の開発等に従事。経営コンサルタ
ントとして独立し、多忙を極めて
いた47才で腎臓がんを患う。病の
回復過程で意識の変容を体験し、
がんがその後治癒。この経験から
意識の大切さを痛感し、以来30年
以上愛用のチェロを片手に国内外
で、意識や自然治癒に関する講演、

愛と癒しのワークショップを行っ
ている。

日時 平成29年11月5日(日)

午後1時20分～4時30分

会場 北とびあ9階901会議室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端(赤

羽寄り)の階段を下り改札

口を出て見える高層ビル

会費 会員 一千元(当日入会可)

一般 二千元 学生 一千元

平成29年2月本部例会報告Ⅱ

私たちの存在の本質につい
て、波動的、物質的視点か
ら考える

講師 秋山 佳胤氏

(あぎやまよしたね氏)

私は物質食ではなく、エネルギー
ー食をいただいているのだという
ことです。この物質としての肉体
を維持するにはやはりエネルギー
が必要なんです。そのエネルギー

ーを食べ物の物質から補っているのではなく、中国医学でいうところの「気」、生命エネルギー、宇宙エネルギー、愛のエネルギー、それを直接循環させて維持しているのです。それは何か私だけが特別に出来ることなのか?と。

私が変わり者だというのは認めますが、でも超能力があるからそれが出来ているというのではありません。私はそういう意味では、まったく皆様と変わらないと思っております。皆様も実はどこまで意識しているかは別として、プラナという宇宙エネルギーをやり取りしているのですね。呼吸を通じてもやり取りしています。

それは冬を越えて、春になって温かくなってきたときに、縁側で日向ぼっこをしたら気持ちいいと思いませんか? それは実は太陽のプラナをいただいております。私達は実は物質的な食べ物だけからエネルギーをいただいているわけではないのです。都会のビルの喧嘩から離れて、田舎へ行って森の中へ入ったりすると、何か癒やされる感覚はありませんか? 木が多い神社へ行ってみると、何か癒やされる、元気になる感覚はあり

ませんか? それは神社で草をむしゃむしゃ食べなくても、元気になるわけです。そういうものは皆持っているのです。



実際、太陽がエネルギーを注いでくれているわけです。太陽がいてくれるだけで、地球は暖められています。太陽の光がなかったら、植物も育たないでしょうし、私達の食べているものも実らないでしょう。太陽というものは、太陽光発電を使わなくても、私達にエネルギーを一杯与えてくれているわけです。植物が光合成によって酸素を生み出し、その酸素をエネルギー代謝に取り入れて過ごすことができているのが、動物です。

このように、太陽というものは、光と熱とエネルギーを無償で我々

に与えてくれています。これは無条件の愛だと思いませんか?

食べ物というのは、地球の土に植えて、土から育ちます。自然農法をされている方はご存知だと思いますが、自然農法の肝は、土作りになるわけです。野菜や果物なども、実は土が形を変えているような面がありますね。具体的に言うならば、土からいろいろなミネラルを吸い上げ、太陽エネルギーを光合成によって、栄養を造るわけです。

食べ物も実は、目に見える物質としての側面もありますが、物質だけなのか? ということがあります。元々その恵みとしては地球由来であったり、太陽由来であったりするわけです。その地球や太陽と私達は直接やり取りもしているのですね。ギリシャ神話の中で、神様が人間を造るとき、泥から人間を造るのですね。その肉体を造ったところに、神様が息を吹きかけることにより、魂が肉体に入ります。それを受肉と言ったりします。そのように神話の中にいろいろと面白いヒントがあります。

私達の存在というのは、肉体という地球由来の物質に意識、魂が

注ぎ込まれた存在ではないか? というのが今日のお話のテーマです。

私になぜプラナだけで生きられるようになったのかと言いますと、正直言ってそんな世界は私は全然信じることはできませんでした。なぜなら、東京工業大学という理系の出身でしたし、物質としての肉体を維持するためには、物質たる食事をとらなければ生きていけないと思っていたからです。

物質をとると、物質になるというのは分かりやすい考えです。ですが、はじめにホメオパシーとの出会いからホメオパシーの学校に入りました。ホメオパシーというのは波動療法でして、物質だけではなく、波動の世界もあるというのを段々知っていききました。由井寅子先生という日本でホメオパシーを広めた先生は、とても視野が広い先生で、私もいろいろなインスピレーションをいただきました。

4年間のホメオパシーの学校の一年目に、イギリス研修がありました。本場でホメオパシーの風にあたっておのが、4年間続けるモチベーションにもつながるだろうという学校側の配慮です。英国

ではホメオパシーは国も認める医学なので、英国やヨーロッパのホメオパスも来て講義をしてくれますし、薬局ではホメオパシーのレメディも販売されております。

そのロンドンでの5日間の研修の後、2日間友人と延泊をしまして、グラストンベリーという聖地に行きました。グラストンベリーは音楽祭などでも有名ですが、いわゆる地球のレイラインというエネルギーラインがあります。地球の、人体における経絡みたいなものです。地球も「ガイア」という一つの生命体としてエネルギーが流れていて、そのエネルギーラインが何重にも立体交差しているのが、グラストンベリーです。

そこへ行つたときに不思議体験をしました。グラストンベリーに入る前、ストーンサークルで有名なエイヴベリーというところに行つたときに、人より大きい石がゴロゴロとサークル状に並んでます。何のためにそれらが並べられたのか、誰が造つたのかは分かっていません。私が、とあるそれほど大きくないストーンサークルに入ったときに、ある石がパルスを送信しているのに気づきました。

今思えば、ここにある「シンキング・リン」の音に似ていたかもしれません。私は鈍感な方ですが、思わず「はっ！」として振り向いてしまつて、何かその石に呼ばれている感じがしました。同行の友人の整体師が、「あの石が秋さんのことを呼んでいますよ！」というわけです。石から呼ばれるというのは、訳の分からない話なのですが、そのときは「分かります！」と言つてしまいました。

私とその石に近づいていくと、そのパルスが次第に大きくなっていき、ほぼ目の前に来たとき、その石からポンツと何か体にエネルギーが入つたのです。そうするとその石は静かになつたのです。私は何か自然に涙があふれてきたのですが、あえて言えば、この石は何万年も私に来るのを待つていてくれたんだ！ずっと忘れずに守つて待つていてくれたんだ！ということを知つた時の感動のような感じです。それが不思議体験の第一番です。

その後、グラストンベリーでレイラインに入ると、鈍感な私でも優しい電気の帯に捉えられるような感覚がありました。友人の整体

師が女性の持つている宝石を綺麗にするということで、レイライン上で振っていると、寶石から白い煙状のものが出ているのが分かりました。それで、寶石の色が変わるのですね。

日本に帰国後、スピリチュアルとの出会いがあり、先日は南アフリカの旅に山川紘矢、亜希子夫妻らと一緒しました。友人の整体師から、山川夫妻の書かれた「聖なる予言」はいいですよ！と言われた翌日、私の息子が行っている幼稚園での妻の仲間から「聖なる予言」をいただいたりするわけです。こういうのを、「シンクロニシティ(共時性)」というのですが、そういうことがよく起こるようになります。その流れで、オーストラリアのジャスムヒーンに出会うことになりました。

ジャスムヒーンさんは2005年に最初に来日したのですが、そのときはご縁をいただけなかったのです。2006年来日したときに、エイヴベリー、グラストンベリーの不思議体験後で、旅行に行つた友人が前年のジャスムヒーンさんのワークショップに出たので、勧められました。食べな

いで生きられるというのは、とても信じられなかったのですが、ジャスムヒーンさんの写真を見て、その笑顔に一目惚れしてしまいました。それで、5日間のワークショップを申し込みました。私にとつて、スピリチュアルなワークショップに参加したのは、このときが最初で最後になります。

不思議なことに、ジャスムヒーンさんのワークショップの前の日からお腹をこわして食べられなくなりました。それで5日間のワークショップ中、ジャスムヒーンさんが話している場にいると、何か愛のエネルギーで満たされて、お腹が減らないのです。帰宅してもハッピーな感じで満たされて、食べる気も起きないのです。そのときは水は飲んでおりました。結局5日間お腹が減らなくて、その後6日目、7日目、8日目も食べなくて、8日ぶりに事務所の事務員さんにフレンチのレストランでご馳走する約束をしていたので、一緒にフルコースをペロリと食べました。

実は私は、断食というものを、いまだかつてしたことはありません。ついこの間、岐阜の船戸クリ

ニツクに断食の森美智代先生と一緒ににゲストとして、呼ばれました。

森美智代先生は甲田療法で有名な甲田光雄先生のお弟子さんで、森美智代先生が少女時代、難病に罹り、何年も生きられないと言われてたのですが、甲田先生に出会って、甲田先生の断食も含めた食事療法で難病を克服され、現在は大阪で鍼灸師として、食事療法も含めて、人々を救っています。森先生は「断食の教科書」という本も出されていますし、断食の素晴らしい指導者です。

断食というのは、普段は食べているが、断食の期間は食事を減らす、もしくは無くする、その後、日常に戻すために、回復食というもので食事を戻していく、その回復食までを含めたのが、断食なのです。ところが、私は食を絶っているのではなく、物質を食べる代わりに、エネルギー食をいただくというだけで、絶っているわけではないのです。断食は非日常なのかもしれませんが、プラーナ食というのは、私にとっては日常なのです。日常はプラーナ、たまに誰かとのコミュニケーションや家族とのコミュニケーションのとき

に、物質としての食事をいただくということ。ジャスムヒーンさんはオーストラリアの白人の女性ですが、44年位瞑想に取り組んでいて、23年位不食の方です。彼女は瞑想マニアでして、いつでも瞑想をしているのですが、彼女が瞑想をしているという面白いことが起きるらしいのです。瞑想の仕方も例えば、愛について1年間瞑想するそうです。「愛とは何か?」と。愛というのは一言でいうのは簡単ですが、本当に愛とは何か、を自分の言葉で説明してください、自分の体験に基づいて説明してください、自分が本当に愛を実感したのはいつですか、話し出したら、いくらでも面白いことがあります。

私の次男があるとき「パパ、愛って何?」と聞いてきたのですが、私もその答えについては、ちょっと自分の言う愛が彼にとって定義になってしまおうのだったらどうしようか、と思つた覚えがあります。

※しばらく原子・素粒子の世界や粒子と波動について、自然科学の解説があつて、その後ドルフ・シュタイナーがヒーリングのため

に開発した「ライアー」という楽器(竖琴)を演奏する。

ドルフ・シュタイナーがライアーを開発したきっかけは、ある少年が夜興奮して眠れないということ、そのときシュタイナーはこの子の興奮を鎮めて、リラックして眠れるように、ということ。でライアーを開発したそうです。

今弾いたライアーは和音主体のライアーで、B、A、E、Dの4音で出来ていまして、Aの音の周波数を432ヘルツに合わせておられます。それが調和の周波数だそうですね。音を聞くということ、音の作用も科学的に説明が始まってきたところ。何か音楽を聴くと気分が変わる、リラックスする、脳波としてα波が出る音楽がある、ということは皆さんも聞いたことがあると思います。

簡単に申しますと、プラーナの摂取率を高めようと思つたら、リラックスすることなのです。楽しく過ごすことなのです。ジャスムヒーンさんの研究でも、脳波がβ波だとプラーナの摂取率が悪く、α波からスローα波、さらにθ波と周波数が下がるにつれて、プラー

ナのエネルギーを受け取りやすいということなんです。緊張すると喉が渇き、リラックスすると口の中は唾液で潤っています。

私は弁護士もやっているので、先日証人尋問があつたのですが、昔なら私も緊張してやっていたのですが、今は緊張することがないのです。共同でやっている隣の弁護士は水を買ってきます、と言っていました。

私もある意味では子供のよう過ぎているのです。子供のようになら楽しく過ごしていると、自然とプラーナの宇宙エネルギーが循環して、満たされる感じになります。

ジャスムヒーンさんが、プラーナでの生活を実践しやすくする八つのライフスタイルをまとめてくれました。これは、プラーナで暮らしている世界の人たちにアンケートをとって、その共通項をまとめたものです。彼女の瞑想の中で、聖母マリアからいただいた人類へのレシピとこの八つのライフスタイルは一致していたそうです。

①瞑想Ⅱ内観Ⅱ自分の意識を自分の内側に向ける。自分の意識で

自分を養うことになる。

② 祈り・時間と空間を越えて作用する。意識の集中により、プラーナの摂取を高める。

③ 運動・不食は内臓の動きも鈍くなるので、体を意識的に使うことにより筋力の低下を防ぎ、エネルギーが流れるので、プラーナの流れもよくなる。

④ ライトダイエット・食事の質と量を軽くしていくこと。

私もジャスムヒーンさんに合わせてから、2年間をかけて不食になりました。2008年にプラーナ摂取率が100%になり、ほぼ水を飲まなくても、大丈夫になりました。

⑤ 自然の中で過ごす・太陽のプラーナ、地球からのプラーナを摂取する。歩いたときに地面からのエネルギーを吸収するイメージをもって歩く。

⑥ マインドマスタリー・感情に支配されるのではなく、感情を自分で主体的にコントロールすること。

⑦ 奉仕・愛の表現

⑧ 神聖な音楽、祈りの歌

平成29年6月本部例会報告Ⅰ

夢を学ぶことの意義

大高 ゆうこ氏

この論稿は、2017年6月の本部例会終了後、7月某日、都内某所にて行われた大高ゆうこと小林敦の対談の内容をまとめたものです。大高ゆうこが、夢という現象に関し、自分をモルモットにしつつ、いかにトータルで深遠な研究と臨床を積み重ねてきたかが、ご理解いただけるものと思います。この対談の映像は、編集後YouTubeにの一部一般公開予定です。

●夢は占いの対象ではない

みなさんは「夢」と聞いて、どのようなイメージを持つでしょうか。

「私は夢をいっさい見ません」「夢は見ていると思いますが、目が覚めると忘れてしまいます」という方がほとんどかもしれません。中には、気になる夢を見て、その意

味を知りたいと思っていらっしゃる方もおいでだと思いますが、いわゆる神社でおみくじを引く感覚で、夢辞典をめくってシンボルの意味を調べるぐらいがせいぜいでしょう。それで納得がいけばよいのですが、たいていは納得がいかないでしょう。なぜなら例えば、犬を飼っていてかわいがっていた人と、噛まれたことがあり犬を怖がっている人がみる犬の夢の意味は全く違うからです。その夢の意味を読み解けるのは、占いや統計ではなく、その夢をみた本人だけです。

●トランスパーソナル心理学との出会い

実は私も以前は夢を全然覚えておらず、興味ありませんでした。三十代の頃、たまたま夫と一緒にあるワークショップに参加しました。スタニスラフ・グロフ博士が開発した「ホロトロピック・ブレスワーク」というトランスパーソナル心理学のメソッドの一つで、特殊な呼吸法により、全身の細胞を活性化させるとともに、自分が抱えているトラウマを解放するきっかけ

けになる、というものです。それは本当に衝撃的な体験でした。それをやっていたのは、トランスパーソナル心理学を日本に初めて持ち込んだユースアイキア研究所の能登さんご夫妻で、その出会いからトランスパーソナル心理学自体に興味を持ち、ご夫妻がなさるドリムワークの入門講座に参加したのです。それは夢占いといった世界とは全く違っていました。

●夢を伝統的に活用している部族

国際夢研究協会の創設者パトリシア・ガーフィールド博士の「夢学」(旧題「夢クリニク」という本が、その講座で参考書的に使われていました。この本にマレーシアのセノイ族という部族が出てきます。その部族では、毎朝各家の父親たちが族長のところに集まって、一家のそれぞれが見た夢をシェアするのです。

例えばトラに襲われた夢を見た子供がいるという報告があったら、「次にトラが夢に出てきたら戦え」という教えが100年以上続いていて、その部族の中には争いがないう、精神的疾患を持つ人が100

年以上の間に現れたことがないそうです。それがたぶん夢をシェアする習慣に基づいているだろう、というわけです。夢にそんな力があるなら、取り組む価値があるなと思います。

●手探りで始めたドリームワーク開発

最初は三十人くらいいた夢講座の受講生も、一年の間に私と夫だけになってしまいました。講座受講の前提条件として、毎日夢日記を書くというのが課題でした。夢を覚えていなかった私も、どんどん書けるようになりました。「夢というの、大事にすれば向こうから近づいてくる」というのが先生の教えでした。

ただ、ドリームワークについては専門家ではなかった先生は、溜まった夢日記をどうするか聞いたら、「それをどう活用するか、そこから先は自分でやれ」と言われたのです。

そこから私たち夫婦の手探りのドリームワーク開発が始まりました。

自分なりのオリジナルのワーク

を作り、みた夢をそれに当てはめてみて、「これは使える、使えない」とやっていきました。それを夫にもシェアして、新しいワーク開発を模索したのです。



●男性性と女性性のバランス

ドリームワークは当時まったく未開拓の分野で、テンプレートというものがありませんでした。だから、書き溜めた夢日記をどうするか、最初に考えたワークは、全部の夢の中に出てくる男女の比率をグラフにする、自分に対して好意的なシチュエーションと敵対するシチュエーションも同じようにグラフにする、というものでした。

心理学の中には前提として、「自分が今現在女性だったとしても、心理的には男性性の部分もあるし女性性の部分もある」という考え方があります。

ドリームワークを始める当初は、たいいてい男性性が女性性のどちらかに偏っています。それが三ヶ月ぐらいすると、だんだん夢に現れる男女の比率が五分五分に近くなっていったのです。

これは、自分の中にある男性性と女性性、実際の性別とは関係ない部分ですが、両方の性質を持っているということを自分自身がどれだけ認めるかということなのです。

そこら辺は、ユングの学派の考える「アーキタイプ（元型）」と言います。

「グレートマザー」という女性性の元型で言うと、「慈しみ育てる」という素晴らしい面もある一方、「抱きしめすぎて絞め殺してしまおう」という部分もあるのです。一方男性性にも、「先端を行く」「勇気を持つ」というプラスの面と、「闘争的」「傷つける快感」というマイナスの面があります。そういう相反する面を持つていることに無自

覚でいると、トラブルに繋がったり、トータルな自分を生きられないことになります。

●トータルな丸ごとの自分を生きることの大切さ

男性性、女性性だけでなく、子どもとしての自分、親としての自分、というふうに「全ての面を持っていて私なのだ」ということを認められると、他の人に対してもそういうふうにも認められるようになるのです。ある人のある一面だけを見て、それがその人の全てだと切り捨てるのは、あまり平和なことではありません。

私にも経験があります。私には子供がいないので余計そうだったのかもしれませんが、夫に対しても飼っていた犬や猫に対して、母性の部分を強く出しすぎていたな、と感じました。それはそれとして、自分がリーダーになってもよいと自分に許したときに、家事などに自分らしい個性を発揮することを恐れなくなりました。

また、敵対心を持っている夢の中の登場人物と好意を持ってくれる登場人物などの比率も50%ずつ

に近づいていきます。本当は敵対的なだけの人間はいないし、友好的なだけの人間もないと思います。例えば世界平和を構築するにも、自分の中にある敵対心と受容性のバランスを無意識にしておくのではなく、そういうものがあるのだと意識することで、相手のことも認められる、というのが基本なのではないかと思えます。

「世界平和」ということでついでに申し上げるなら、自分は「よい人」だけで作られているわけではないのです。自分の中にある残虐性を認めたところで、初めて相手の残虐性というのがどこから来ているのかがわかるわけです。あくまで、自分はよい人で、「何も悪いことをしたことがないです」というふうに、そうではない面を見ないでいる限り、上下関係や争いというのは起きます。だけど、自分の中にある残虐性、孤独感、執着心は、どこの国の人にもあると認めたら、きつとみながわかり合い、繋がれると思えます。

●精神分析は精神的なレイプになりかねない

精神分析家とか、いわゆる臨床心理に関わっている人たちが少し勘違いしているのは、自分のことがトータルにわかっているのではなくて、クライアントを分析しようとする危険性についてです。

私のところに、いろんなカウンセラーを転々として、最後にたどり着いたのがここです、という方がけっこういらっしゃいます。その中で、精神分析医にかかって、精神的にレイプされた、とおっしゃる女性が多いんです。精神分析を受けた帰りの駅のホームで自殺してしまう人もいます。たいてい、分析をする側よりも、クライアントの方が人生経験が深いのです。悩みが深いから相談に来られるわけです。だから、分析医の方はそういう認識のもとに、人の心を扱うのでないとダメだと思えます。

ドリームワークの場合、夢が心のいちばん深いところ、いちばん隠しておきたい部分から出てくるからこそ、まずは分析する側がトータルな自分、見たくない自分も認めていることが前提となります。結局ドリームワークのよさは、夢判断などと違って、「あなたの夢は

こうですよ」という押し付けではなくて、「あなたの夢の意味を知っているのは、あなただけです」という究極的な自由意思を認めている点なのです。

●夢には自分の恥部もさらけ出される

ワークシヨップなどで私がいちばん大事にしていることは、「ここは安全な場です。ここで話されるあなたのいちばん心の深いところのお話は、誰も外に漏らしません。だから安心して話してください」ということです。ワークではワークシートなどを使うのですが、私はそれを一切受け取らないことにしています。夢をみた本人に全部持ち帰っていただいています。だから、テレビなどでタレントなどが気軽に夢の話をするのは、危険なことだと思っています。

夢の連続講座をやっていると、参加者は最初の頃は、自分の深いところをさらけ出しているという自覚がないのですが、「自分の恥ずべきところも夢に現れている」とだんだんに気づき、来なくなる方もいます。

あとは逆に、例えば「天使の夢を見た」とか、「イエス様とお話した」とか、そういう夢をあえて作って、みなさんに「すごいね!」と言って欲しい、という方もいらっしゃると思います。それは聞けば分かるのです、辻褄が合いません。夢は、わけがわからないで当たり前なのです。そのわけがわからない夢同士を繋いで、わけがわからないところを埋めていく作業がドリームワークなのです。

●ニューエイジ運動とドリームワーク

もともとドリームワークの成り立ちとして、ベトナム戦争以降のアメリカで始まった「ニューエイジ運動」があります。ベトナム戦争で傷ついた兵士とその家族、アメリカの国民全員がそうですけども、その失われた誇りとか傷ついた心をどう癒すか、というところから始まっています。

ベトナム帰還兵の中には、トラウマやストレス(PTSD)などで睡眠障害を起こし、通常ノンレム睡眠(熟睡)のときは体が動かないはずですが、眠りが浅くなって、

夢を見ながら体が動いてしまっ。それで、夢の中で敵に追いかけて、殺される前に殺すのだと言って、隣に寝ていた奥さんの首を絞めて殺してしまった、という事件が本当にありました。ではそれを、実際に戦争に行かなかつた分析医がどうやって分析していくのか。

結局、臨床データが先行して、理論が後からついてくるものだと私は思いますので、臨床家が実力をつけないと、なかなか人間の本质みたいなどころを解く動きにはなりません。

でも、特に日本では、夢の臨床家は育っていません。

夢占いとさんざん比較されて、誤解されて、そういうものとは違うのだと、統計ではないのだと話してきているのですが、夢の深い意味を知るということは、もしくはすると自分の隠したい秘密が露わになるかもしれないという怖れが邪魔してしまうのでしょうか。そこを乗り越えるには、やはり苦楽を共にする仲間の存在が大きいと思います。

●いちばんつらい時期に後進を育てようとした理由

あれは私が四十歳前後くらいるとき、非常に体調が悪くて、足の痛みで1分間も歩けないくらいで、寝たり起きたりの時期がありました。でもそんな状態でも、夢日記をつけていると、夢の中の自分は、全くいつもと変わらず健康で、ドリームワークをすると、ゆったりと大きな大河の流れのような中に自分があることを、まざまざと知らされました。川の表面は泡立っていても、下の方の流れはとて静かで堂々としていて一貫性があるのです。だから、表面の泡立ちだけ見て右往左往するのではなく、もうちょっと深いところの自分を見詰めた方がよさそうだなと思いました。

ただ体調がすごく悪かったので、ドリームワークを始めた頃に、普及させるのに100年かかると思いました。フロイトが「夢判断」を表して、世界に浸透するまで100年かかっているのです、私も100年かかるなと思って。だったら種まきくらいはしておこう、種まきさえしておけば、私にもし

ものことがあっても、誰かに跡を継いでもらえるだろうと思つたのです。それで選抜メンバーを集めて、無料で夢のトレーナー養成講座というのを半年かけてやって、オリジナルのノウハウを全部伝授しました。その選抜メンバーの中に、今回学会での講演を一緒にやった小林さんもいたのです。



あの時期は、バシヤールとかシヤリー・マクレーンとかスピリチュアルブームで、セミナーなどに出向いて勉強したくても、病気で外に出られなかったのです。だから自分の夢を自分でワークして自己分析して、自己解放するしかなかった。頼りになるのは自分の

夢だけ。それで自分の生き方を決めるしかなかったのです。それが今思うと逆によかった。あの時期に中途半端な指導者に取り込まれていたなら、今の私はなかったと思います。

心理学の世界にもいろいろな学派があって、夢分析というのはその時点では添え物にすぎず、夢学会もありませんでした。特定の学派に入ってしまうと、その学派の考え方の枠の中で夢を解釈するようになってしまふと思ひ、私はあえて学派にも入らないと決めていたのです。

●「心と体と魂」はそう簡単に統合できない

よく「心と体と魂」とか言うのですけど、その三者を統合するということにあまりにこだわりすぎると、逆に見えなくなるものがあります。私が好き言葉に「アウフヘーベン(止揚)」というのがあります。Aという考えとBという考えがあつて、そのどちらも否定しないで、その二つを統合した一つの視点から物事を見るといふ考えですが、それがよいのではな

いかと思っっています。でも、簡単なことではありません。

例えば科学という概念の中には、「書齋科学」と「野外科学」があると思うのです。「書齋科学」というのは、文献上とか再現性というものを重視する科学。「野外科学」というのは、継続性がない、再現性がない一回限りの現象を扱う科学。それぞれの分野で負うべき役割があります。その両者のバランスの上で「アウフヘーベン」されたものがあるはずです。夢を扱う場合も、「書齋科学」と「野外科学」の両方の立場があるはずですが、今は偏っているようです。

私は、本当に幸いなことに、「心」という問題でいえば、トランスパーソナル心理学と出会ってドリームワークをやり続け、「体」に関しては、有名な先生たちに体の整え方を習ったりしました。「魂」という部分では、最高のチベット仏教の師匠に学べました。

チベットからインドに亡命するときに、ご自身の家族を殺されている方たちなのですが、笑うときは太陽が爆発したように明るいです。日本人には真似できない。そこにいちばん心惹かれて、「こん

なに悲惨な経験をしているのに、こんな笑い方ができる。そんな人たちがバックボーンにしている哲学を知りたい」と思っって学ばせていただきました。

私は心も体も魂も、得られる最上・最良の方たちから教えを受けてきたという自負があります。

●夢の学びの三段階

夢の学びを深めるには、苦楽を共にする仲間が必要だと思い、「ドリームフレンド・風」という団体を立ち上げました。

この団体で実践している夢の手法としては、主に三段階があります。

まずドリームワークを通じた自己分析、トータルな自分を知っていくことです。

次の段階は、段階といっても自己分析と並行してやるのですが、自分の寝ているときの夢が叶えた夢とどうリンクしているかを実感として体験することです。

最後の段階として、「ドリームヘルパー」や「DI技法」という究極の夢活用法があります。これは、一つの問題に関し、それが個人の

問題であれ、ある組織やグループ内の問題であれ、集まった人たちがみなで夢をみて、それを分析して解決策を見出していくという技法です。

では、この三段階のそれぞれを見て行きましょう。(続く)



第四一八回関西日本サイ 科学会研究集会報告

神社と経営心理学を使っ
て成功する方法

講師 大和 栄一氏

(一般社団法人 ヤマトエビス
研究所代表)

とき 平成29年5月20日

ところ 大阪科学技術センター

大和氏は昭和15年生まれ、大阪府出身。アメリカ、アドラー心理学世界本部で経営心理学を学ぶ。その後、アメリカンドリームで成功したドナルド・トランプ氏など数十人とのインタビューを経て実

践心理学を学ぶ。その後、日本商工会議所で長年講師を務め。現在、香港の日本食業3社の顧問を務める。

☆ ☆

大和栄一です。今回のテーマである「神社と経営心理学を使っ
て成功する方法」を講演させて頂
きます。

私は長年、商工会議所で中小企業
の皆様に、いかに事業を成功さ
せるか? についてカウンセリン
グを通して動機付けをしてまい
りました。

私自身も長年潜在意識を活用し
てビジネスをしてまいりましたが、
どうしても在る一線から抜きん出
る事が出来ませんでした。

そんな時に、ある成功している
人に相談しました。処、「自分は神社
を信心し、良く神社に赴き、相談
して決めているから成功している」
と言われ、そうか! と気が付い
てから神社めぐりや、神社検定を
受けて勉強をして実践した結果、
いろんな奇跡を体験致しました。

私の得意とする処の潜在意識の
活用+神社の活用をする事により、

悩んだり、苦しんだりしている人達に、ぜひ学び、体験し、願望実現や、自己実現をして貰うセミナーを開催しております。

今回のセミナーでは例題としてアメリカ大統領ドナルド・トランプ氏と48歳の時に、ニューヨーク・トランスポワァーでインタビューした際のレポートを発表させて貰います。

その時の面談した内容を、経営心理学を使って分析したり、神への信念等、直接聞いた事を述べさせて貰います。

アメリカンドリームを達成した人達に直接話を聞いた共通の考え方は、神や教会と、潜在意識の開発、又、経営心理学の応用+大宇宙のエネルギー利用方法を使い、自分自身の物の考え方や行動を変えていっている事でした。

私は学者ではありませんが、実践心理学を利用して対応する事によって、中小企業の経営者が実践すれば必ず成功する。その為には、人は何かに頼らなければならぬ動物ですので、何処にでも身近にいる、神社を活用すれば、今迄と

違った考え方や、アイデアや、閃きが沸いて来ますので、その方法をセミナーで皆様に教えております。

神社は祈りの場所、寺院は自分を省みる場所と言われています。約八万社以上も在ると言われる神社ですが、企業の土地や、ビルの屋上にもお社が在ります。

何故でしょうか？ 難しい理論や理屈は要りません。



占いや、古神道のように修行する必要も有りません。ビジネスマン以外に、経営者が悩み苦しみから解放され、感謝や従業員の愛社精神に繋がって行くのでは無いでしょうか？ この頃、本屋では神社に関する本が多く出版されていま

す。

これも今の世の中を表しています。私は、神社とは皆を成功させて貰える処だと思えます。

日本では、今も昔も成功への道は神社に在ると考えられています。それと神社とは、自分の潜在意識と繋がっている場所です。科学やインターネットが発達すればする程、神社が必要になってきます。

又、神社は、大自然と神様のコミュニケーションの場であり、自分の意志を伝えるだけでなく、神様の意思を受け取る事の出来る、パラレルユニバース(並行宇宙)の場所でもあります。

人は、ついつい知識でアレコレ考えようとしますが、感性の部分が最も大きな意味を持つのです。

少し心理的な部分で、自分と神(宇宙意識)の領域を考えてみますと、世界には、法則Aと法則Bの2つの力が働いています。

因果の法則をAとします。我々はビジネスを展開する上で、普通はAの法則しか頭に置いていません。豊かになるという目的追求も、Aの法則に頼って対策を講

じる傾向が有ります。

Aの世界は、原因・結果の支配する世界で、ピリヤードのように、ここを突いたらこう転がって、玉はここに落ちる。というように結果の読める世界であり、飛躍とか奇跡とかの入る余地は全く有りません。

私達はAの世界だけが、この世界の総てのように思っています。本当はAの世界に重なるようにして、Bの世界が厳然と存在しているのです。

そして人間は、Aの世界の支配を受けると同じく、Bの法則の支配も受けるのです。

成功も金儲けも、Aの法則だけでは巧く行きません。成功し豊かになる為には、ロケットで宇宙に飛び出すようなジャンプ力が必要です。

思いがけない人の協力、予想もしなかった幸福、偶然の様な出会い、地球の裏側の天候や、突発する外国の政変の株価への影響。人間の力や予想を超えた転変を、自分の見方にする事が出来るかどうか？

要はツキを自分の物に出来るか否か。成功する為には、こういう

ラートが聴く人の脳を揺さぶり7.8Hzの脳波が誘発されるのではないのでしょうか。もちろんこの歌声は鯨には聞こえないでしょうから、鯨が近づいてくるのは別のメカニズムを考えなければなりません。

図5はKさんの歌唱中の脳波の一部を示しています。明らかに右脳と左脳と7.8Hzで共鳴の頻度が多く図の矢印の部分は10秒以上も続いていました。こうなるとバンアレン帯のプラズ

マ振動との共鳴が続き場に何らかの影響をもたらすと考えられます。それによって鯨が引き寄せられたのではないのでしょうか？

鯨も小鳥も脳波を測るすべはありませんが、地球上の全ての生命体は7.8Hzのバンアレン帯のプラズマ振動の下で発生し成長したわけですから共鳴する構造を抱えていると考える方が自然だと思います。



写真3 小笠原沖でホウエールウォッチング

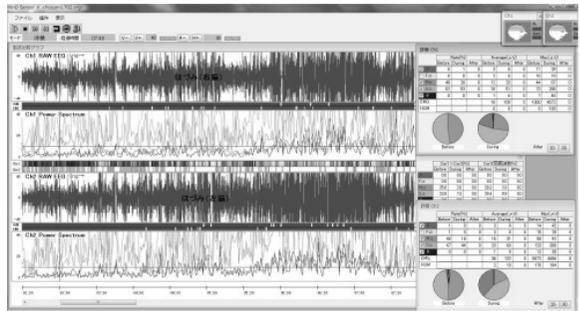


図5 歌唱中の右脳(上)と左脳(下)の脳波

た側面を見逃す事は出来ません。ツキは法則Bのルールで起こるのです。にも拘わらず、Bの世界が隣り合わせに在る事を信じず、Aの法則だけで努力し、一生懸命の努力が空回りして、自分の不運と力の少なさを嘆いている人が後を絶ちません。

こんな人は、私に言わせれば、好んで不運を選びツキを追い払っている様なもので、援助してやろうとの親切を断って、わざわざ孤立無援で戦っているようなもので成功が遠のくのも当たり前と言わねばなりません。

Bの世界が在る事を認め、積極的にその力を用いる事が成功(自己実現)する為の秘訣で有る事は、こういった数々の例から見ても疑いのない事と判断出来るでしょう。では、どうすれば実行出来るのか？ そう！！ 神社を活用するのです！！

それも朝早く5時〜7時頃に自分の思いをパワースポットで利用するのです。3日、3ヶ月、3年と潜在意識を活用するのです！！ 貴方の潜在意識や宇宙意識と、神のエネルギー、神の世界と一体となれば、運や、ツキが廻って来

ます。

世の中の成功者と言われる人は、必ずこれを実行しています。

習慣というものは中々変える事が出来ません。

だから目に見える神社を活用して、自分なりに工夫をして下さい。必ず自己実現を達成する事が出来ます。

最後に、
右、神は人の敬ひによって威を増し、
人は神の徳によりて、運を添ふ。

※ 御成敗式目、執権北条泰時
(鎌倉時代)

人は神を崇敬すれば、神威は増して、人は神徳によって運が開ける。という意味です。

☆ ☆

当日の参加者は会員10名、非会員18名計28名でした。

(関西日本サイ科学会会長

河野明夫)

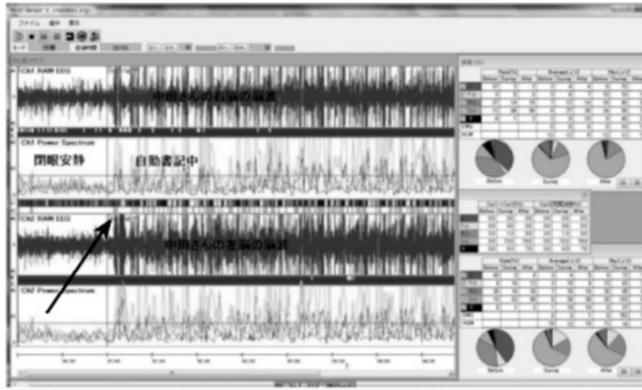


図3 Nさんの右脳(上)と左脳(下)の脳波

図3の閉眼安静状態では初めての脳波測定で緊張したのか右脳も左脳も β 波が強く次第にリラックスして10Hzのミッド α 波が増えてきましたがシンクロは観察できませんでした。この状態を基準にして自動書記を始めます。目を閉じ、深呼吸を数回繰り返して心の中でマントラを唱えます。10秒位で右脳と左脳とで7.8Hzの強い共鳴が起き(図中矢印)、それを境に自動書記が始まりました。

目を開け、はがき大の用紙を取り出し、筆で何やら書き出しました(写真2)。その間の脳波は β 波が極端に減り7.8Hzのスロー α 波が強く観察されました。ただ、書いた本人も意味が分からないらしく、改めて瞑想をしてから記入された用紙を眺め直し解説し出しました。その間の脳波も β 波は少なく主に7.8Hzのスロー α 波ですが10Hzのミッド α 波も含まれていました。右脳と左脳との同期も殆ど7.8Hzのスロー α 波でした。明らかに脳の中では特別な状態が展開されたと思われる。

鯨を呼ぶオペラ歌手の場合

オペラ歌手のKさんは郊外や森で歌うと野鳥がたくさん集まってきて一緒に囀るそうです。極めつけは小笠原沖のハウエルウォッチングで船の舳先で歌い始めると、はるか向こうからザトウクジラが姿を見せ、次第に触れるくらいに近寄ってくると云うのです。しかも警戒心が強いはずの子連れの母親鯨だったそうです(写真3)。

その様子はYouTubeで紹介されていますからご覧ください。

https://www.youtube.com/watch?v=mXxXtNF7_KE

Kさんがどんなに大声で歌ったとしても海中の鯨には聞こえないでしょうから、別の作用力が働いたものと思います。海中の鯨の脳波を測るすべはありませんが、脳波的な共鳴がバンアレン帯を通じて起き、互いに引き寄せられる作用力が働いたのではないかと考えられます。

幸い日立市の御岩神社でKさんが奉納演奏をすると云うことでPCと2チャンネル脳波測定装置を持参して同行させていただきました。歌声の収録と右脳と左脳との脳波共鳴、歌手とその歌を聴いている人との脳波共鳴を確かめました。



図4 音声波形

図4はそのときに収録した歌声の一部です。脳波そのものは周波数が低いので音としては聞こえませんが、歌声に強弱の変化を与えてビブラートの形で現れます。呼吸を整え、声帯の動きなどは脳からの信号に基づいています。脳波もその信号に影響されていると思われます。図4は右脳と左脳とが7.8Hzのスロー α 波で共振共鳴しているときの音声を表しています。見て分かるように明らかに音声の強弱変化も7.8Hzに振幅変調されていました。このビブ



図1 実験に使用したアルファテックIV

右脳と左脳のα波のコヒーレンシーを調べる.

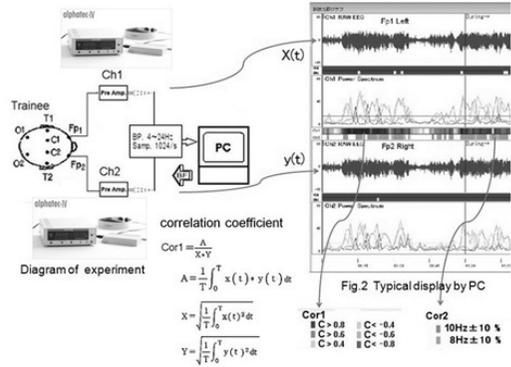


図2 脳波の相関分析法

図2での相関の算出は：

左脳の脳波を $x(t)$ 、右脳の脳波を $y(t)$ として
相関係数 $Cor1$ は

$$Cor1 = \frac{A}{x * y} \quad \text{ここに}$$

$$A = \frac{1}{T} \int_0^T x(t) * y(t) dt$$

$$x = \sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T x(t)^2 dt}, \quad y = \sqrt{\frac{1}{T} \int_0^T y(t)^2 dt}$$

で求めました。

一方FFTにより左脳と右脳の周波数分析を
行い、±10%での合致度合いを $Cor2$ としてリ
アルタイム表示しました。

自動書記の場合

具体例を紹介しましょう。札幌にお住まい
のNさんは自動書記がお得意で書かれた内容
には意識した人の問題解決のヒントがたくさん
含まれていて、事実問題が解決できて評判で
す。そのNさんをお願いして自動書記をしてい
るときの脳波を測らせていただきました。コン
トロールとして閉眼安静状態の脳波を測ります。
写真1はそのときの実験の様子。写真2は自動
書記の結果。図3はNさんの右脳(上段)と左
脳(下段)の脳波結果です。



写真1 実験の様子



写真2 自動書記の結果

ができる。一例として、回転方向が同一で、ベクトルの向きが逆方向を向く電子 (e^-) と陽電子 (e^+) の spin 対を考える (基本構造)。

さらに、これに陽イオン (H^+) と陰イオン (OH^-) 等が加算し、巴形状の spin 対群になる。一般には、これらが裏表、前後、左右、など様々な組合せ (様々な方向の相殺ゼロ) の下で、中和している集団 (群) となる (イオン・ボール形成)、と推定している。なお、以上の説明には電子 (イオン) やベクトル等を用いたが、実際には、イオンを含む様々な光子群の組合せとして存在するのであろう。空気成分の電離とエアゾール (埃、微細塵) によって形成された巴型の大気陰・陽イオンボール (オーブ) が、スピンによって絞り込まれて、相殺ゼロが形成され、その上に、ゼロ場 (ゼロ点) が出来る、と判断している。ここにサイ (気) が加算してオーブ (たまゆら) ができる。なお、サイ (気) は、オーラ、プラナ、微細身素粒子等から構成されており、周波数 (波長) の異なる光子群の集合体である。つまり、「スピリット・オーブ」または「たまゆら」は、意識要

素としてのサイ (気) がオーブに加算されたものである。

7. 意識によるオーブの形成

マクロPKは、意識と体外にある物質との間に、情報交換のある事を認めている。念力を生起させようと、意念を集中し、発功した被験者からはスカラー波、換言すれば、巴形状の「PSI-spin 群」の放出がある。つまり、正と負を衝突させるとスカラー波になる。縦方向、横方向などの様々な方向の相殺ゼロの集合を意味する。正負の極性が無く (陰、陽の拮抗対峙で消去)、全体として「ゼロ」の粗密波 (縦波) となっている事から、直接、原子核中の中性子に作用してエネルギーを得る事になる (式 (1) 参照)。さらに、このエネルギーを得た PSI-spin 群と体外にあるスピリット・オーブの芽 (PSI-spin 群) とが共振して、スピリット・オーブ (たまゆら) が形成されるのであろう、と判断できる。

サイ現象と脳波 (3)

志賀 一雅

脳波の相関分析

脳波を計測すると時々 α 波と呼ばれる Sign wave のような形をした綺麗な調和振動波が観察されます。なぜこのような綺麗な波形になるのかは分かっていませんが、周波数が 7~12Hz の中に分布していることからニューラルネットワークの循環回路のスケールが想定されます。 α 波の周波数スペクトルから判断すると単独の神経回路ではなく非常にたくさんの循環回路が繋がっていると思われる。

大脳は機能局在説が支配的だから場所ごとに働きが異なります。仮に右脳の α 波と左脳

の α 波とが周波数と位相とが揃っていれば (コヒーレント) 協力し合って働くと思われます。前頭葉の α 波と後頭葉の α 波がコヒーレントであれば機能は相補的に働くものと思われます。

スピリチュアルパワーを発揮している人の脳波を測ると右脳と左脳と 10Hz でコヒーレントになったり 7.8Hz でコヒーレントになったりします。10Hz の場合は五感が鋭く働き意識がはっきりとしているのに対し、7.8Hz の場合は意識が殆ど働かず透視とか予知などの五感を超越した情報をキャッチしているように思われます。

によって物質が変化する現象をいう。従って何らかのエネルギー、力等の作用を伴っている筈である。これらが存在する事は古くから知られていたが、全体を説明する機構は不明であった。うへの2、(1)で述べたが、Fowardは、式(1)の原子核内部のエネルギー変化がPKの原因であるとした。筆者らはこの主張を支持し、従うことにした。

5-1) 中性子の役割

念の為に、始めに(周知の)説明をする(Wikipedia等)。物質は分子、分子は原子、原子は原子核と電子からなり、原子核は陽子と中性子とから構成されている。陽子は(+)の電荷、中性子は電荷を持たず、電子は(-)の電荷を持つ。(原子番号) = (陽子の数) = (電子の数)である。また(陽子の数) + (中性子の数) = (質量数)である。中性子の相互作用は非常に短距離であり、不安定で、平均寿命は極短く、質量は陽子の質料とほぼ等しい。水素原子は陽子の数は1個であるが、その他の原子は原子番号が示す様に、陽子の数は多い。陽子同士は相互の電磁気力によって大きな斥力をうける。これを安定化させるのは中間子であり、中間子を媒介した核力が引力として働いていて、これが反発力に打ち勝って原子核を安定化させている。中間子は仮想粒子である。

この中間子が陽子と中性子を(キャッチボール状に)やり取りする事で引力が媒介されて、陽子と中性子を原子核内につなぎ止められる事になる。つまり陽子と中性子は、中間子を交換しながら安定な結合を保持している。なお、中性子は電荷を持っていない事から、入射した物質の原子核と直接反応することが出来る。これが利用できれば、マクロPKの場合の力は、原子核から得る事が出来ると判断できる。

5-2) スカラー波の発生

不安定性を持つ原子核内の中性子に、直接働きかけることが出来るのは、生体の皮膚(チャクラ、経穴)から放出されるスカラー波(SPI-spin群)であろう。臨床を伴う古来からの伝統的な

東洋医学、ならびに近年の本山博らの測定・実験(経穴)によると、体内の経絡を流れる気(サイ)には、陰経(陰の気)と陽経(陽の気)がある。気(サイ)放射時にはこの両者が拮抗対峙して相殺ゼロが形成され、横波が縦波に変化して、スカラー波(テスラ波)になって放射されるのであろう。

一例を述べる。チベット仏教の六字真言を、声を出して唱える事により、体内を流れるサイ(気)を制御して、マクロPKを介してオーブを動的に出現させ、ビデオに記録する。被験者は特異功能者の佐藤禎花師である。指先脈波(体内のサイ、気の流れ)の測定値をカオス解析して(複雑性科学をもちいる)アトラクターを画かせ、アトラクターの駆動因子(フラクタル次元D)をもとめた。六字真言に従ってD値は上下、下上、に数回変動している。これらの変化の原因を解析し検討を加えた。結果として、体内の自律神経の交感神経と副交感神経を拮抗対峙させて相殺ゼロを造り、これを積み重ねて、スカラー波(テスラ波)群を造り、これらを放出する。このゼロを離散的に重畳させる事が動的スピリット・オーブの形成・出現に密接に係るらしい事が分かった。つまり、このスカラー波が直接原子核に作用して、(式1)からエネルギーを得ることになると考えられる。

6. スピリット・オーブの形成

地球を包み込んでいる大気層は、宇宙線の照射等のために電離していて、上層部は陽(+)、地表近くの下層部は陰(-)に帯電している。この為に地球は巨大な球形・地球コンデンサー(約30万V)として存在している。大気成分の大部分は窒素と酸素であり、他にアルゴン、二酸化炭素、水蒸気等がある。大気電界や宇宙線等のために水蒸気は電離していて、H(陽イオン)、OH(陰イオン)、電子(-)になっている。なお水蒸気がないと、オーブ(たまゆら)は極めて出現しにくくなる。大気イオン群の中にエアゾール(埃、微細塵)を入れると、大気電界やイオン間の相互作用などにより、大気陽イオン・ボールと大気陰イオン・ボールの組合せ(一対)

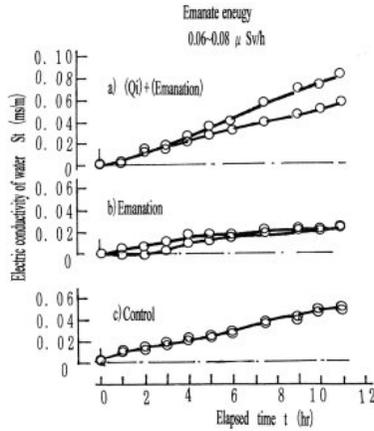


図1

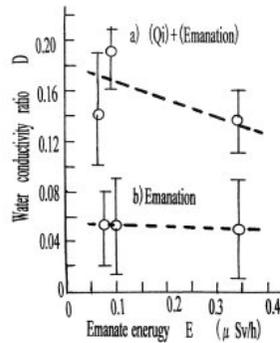


図2

4. 生体の電気・機械振動と「気」の関係

オーブと情報交換を行ない、動的スピリット・オーブを出現させる（発生して貫う）為には、環境を含めて十分な準備が必要であろう。筆者らの実験結果の中から、本稿に関係があると思われる部分（1988実施）を記述する。念力（マクロPK）の際の脳波測定（EEG）とマイクロ・バイブレーション（MV）測定を行った。（1）姿勢を正し、呼吸を整え、願いと感情をこめてリラックスする事により、前頭葉部の脳波（EEG）をアルファ波にする。つぎに、（2）精神と意識を集中する事により約10～11Hz、振幅60～90mVへと増加させる。すると、筋肉も緩んで約10HzのMVを繰り返す様になる。つまりEEGとMVが共振するので、気血の循環とエネルギー代謝が促進されて、治病や強身に有効に作用することになる。つぎに、（3）強くイメージするとサイ（気）現象が生起してくる。この時、脳波（EEG）はレーザー光のように周波数と振幅が10Hz、90mVにほぼ揃えられる傾向がある。（4）右側頭葉はサイ現象の有無、左側頭葉はその判断、前側頭葉は判断と認知を分担している。つまり脳内では、通常のため意識の場合とほぼ同一の内容の情報処理が行われている様子である。なお、体表面微小振動（MV）とは、温血動物の皮膚表面が、安静時に7～13Hz、1～5ミクロンの機械振動を継続している現象をいう。MVは感情の影響を受け易く、機能的なので、MVと

EEGとは通常は無関係であるが、レム睡眠時又は無意識時には相互関係を持つようになる（坂本ら）。また、筆者らは脳波計を用いて（電位法によって）発功時の大脳と経穴そしてMVを調べた。（5）経穴と皮膚の電位活動（SPA）は、感情の影響を強く受け、機能的ではあるが、EEGとはほぼ同一の周波数範囲内で、振幅はEEGよりもより大きく、EEGとはほぼ同一の周波数範囲内で振動している。（6）気は蒸留水に吸収され易いので、気を介して、空気の水蒸気と生体の間に交流があると思える。また大気中には宇宙線などによって生成された陰、陽のイオン群が存在しており、これが気の働きに影響を及ぼす。（7）経穴はそのまわりの皮膚よりも約1/100も電気抵抗が小さいので、経穴を介して気が入り出すと考えられる、（8）興味深いのに、シューマン・レゾナンス現象がある。これは、上空の電離層と地球との間の8Hz付近の電気振動の共振を意味するものであり、生体や気のコントロールに密接に関係している。

5. 念力は原子核変化に及ぶ

今から約110年前に設立された超心理学会（世界で最初、英国、SPR）の主要な研究内容はPK（念力）とESP（超感覚）であった。ESPは情報の超知覚現象（テレパシー）であり、PKは意識による物質変化（念力）である。巨視的な物質を対象にするマクロPKは、意識の直接の作用



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.sakura.ne.jp> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

スピリット・オーブ構成要素の検討(2) (スカラー波、中性子エネルギー、特異放射等)

佐々木 茂美

1. はしがき

マクロPK(念力)は、意識と体外にある物質との間に、直接の情報交換がある、と主張している。この現象の存在は古くから知られていたが、その理由や機構は不明であった。H.Forwardは、不安定性を持つ原子核内の中性子のエネルギー変化から念力の力を得ていると推論した。本稿では、検討・考察の結果として、発功時に皮膚から放出されるPSI-spin群(スカラー波)が、中性子に直接作用してマクロPKのエネルギーを得ているのであろう、と推察した。

2. 気発功時の放出エネルギー(既発表、引用論文)

はじめに文献を紹介する。(1)マクロPK(念力)は、対象物を構成している物質の、不安定性を持つ原子核内の中性子の質量 m がエネルギー E に変わり、

$$E = mc^2, \quad c = \text{光速度} \cdots (\text{式1})$$

この E を介して生じる力を用いて、念力として発生する、とスウェーデン人のH.Forwardは、米国Duke大学におけるサイコロ投下の実験結果から推定した(1951)、(例:サイ科学、Vol.1、No.3、pp22-27、関英男先生文献紹介)。(2)生体からの特異放射(サイ、気、核エネルギー)には中国の実験・報告がある。顧函森らによると、気発功時の気功師からは電磁波(1979)、(低周波赤外線、出力30~65dB)等の放出がある。また、陸祖蔭らは、気発功時の厳新からは最大値で120mRの放射線(熱ルミネセンス線量計)

の放射が有り、さらに、放射される外気は核物質の崩壊エネルギーを変化させる事ができた(アメリカウム241をネプツニウム237に)、等と報告している(1988)、(ガンマー線計測)。

3. 放射線被曝と「気」と生体(センサー水)の実験

本節では放射線と気と生体の関係を扱っている。はじめに、スピリットオーブ発生時に、これらはどのような関係を持つか等を知る為の基礎として、約10年前に行った筆者らの実験結果(未発表)を提示する。人工外気として、水晶・無誘導コイル・装置を8Hzで駆動した。放射線には秋田県の玉川温泉の湯花粉(0.06~0.08 $\mu\text{Sv/h}$)をもちいた。この結果の一例を図1に示した。生体の代りにセンサー水を用いる。放射線被曝水、並びに人工外気と放射線を同時にあたえた被曝水、対象水のそれぞれの恒温槽内(40度C)における電気伝導率変化を縦軸に、横軸を経過時間にとって示してある。伝導率変化の正(+)変化を損傷の修復、負(-)変化を損傷と見なすことにした。図2はこれらを纏めなおしたものである。対照と比較すると、(1)放射線被曝によって損傷が生じる(約7%)。しかし人工外気と放射線を同時に与えると修復が進行する(約11%)。このとき、実験範囲内では(3)放射線線量が低いほど、修復は大になる傾向がある。以上から、放射線と生体と外気の間には密接な関係のある事が推定される。